

春の叙勲・褒章

政府は、4月11日付けで第34回危険業務従事者叙勲受章者を、28日付けで春の褒章受章者を、29日付けで春の叙勲受章者を発表しました。

市内では次の皆さんが受章されました。

藍綬褒章【更生保護功績】



工藤 節生 さん
(中野町・77歳)

保護司として平成10年から、犯罪や非行など過ちを犯した人の社会復帰や更生援助など自立支援に尽力。一人一人が抱える悩みや課題について、その人の心に寄り添い更生保護の任にあたっています。受章について「保護司会や関係団体などの協力、妻の支えがあったため」と感謝していました。

瑞宝単光章【郵政業務功労】



堀田 正彦 さん
(上野町・65歳)

昭和48年に旧郵政省に入省し、花巻郵便局郵便部課長として退職するまでの40年間、地域郵便業務に貢献。東日本大震災の時は、釜石郵便局の応援で避難所を回り郵便物を手渡しました。受章について「なぜ自分かという思い。郵便局を利用していた皆さんののおかげ」と感謝していました。

瑞宝単光章【専門工事業功労】



小原 郁夫 さん
(相去町・65歳)

昭和60年に北海建設工業(株)に就職し、土木工事の施工を通じて業界の発展に貢献。豊富な経験を生かして高い工事成績を挙げ、ほか、徹底した安全管理により全ての工事で無事故を達成しています。受章について「一人の力で工事はできない。支えてくれる皆さんののおかげ」と感謝していました。

危険業務従事者叙勲・瑞宝単光章【警察功労】



小野寺 節朗 さん
(上野町・73歳)

昭和41年に岩手県警察官となり、平成20年に花巻署矢沢駐在所主任(警部補)として退職するまで治安維持に貢献。勤続42年の大半を交番や駐在所で勤務しました。同僚や先輩に恵まれたと話した上で、「現場臨場の指示などが時間に関わらずあり、家族に苦勞をかけた」と感謝していました。



佐藤 利一 さん
(二子町・72歳)

昭和41年に岩手県警察官となり、平成20年に江刺署交通主任(警部補)として退職するまで、交通機動隊や交通企画など交通部門で活躍。「全国白バイ安全運転競技大会」での入賞など印象深い出来事を挙げ、「事故減少に貢献できたことが働きがいだった」と振り返りました。



高橋 康雄 さん
(黒沢尻・72歳)

昭和41年に岩手県警察官となり、平成20年に江刺署玉里駐在所主任(警部補)として退職するまで治安維持に貢献。地域の小学校を「交通安全子供自転車全国大会」へ導くなど、住民に密着した活動に尽力しました。受章について「助けてくれた地域の皆さんと家族のおかげ」と話していました。

立花 昇 さん
(立花・72歳)

元北上警察署口内駐在所主任(警部補)